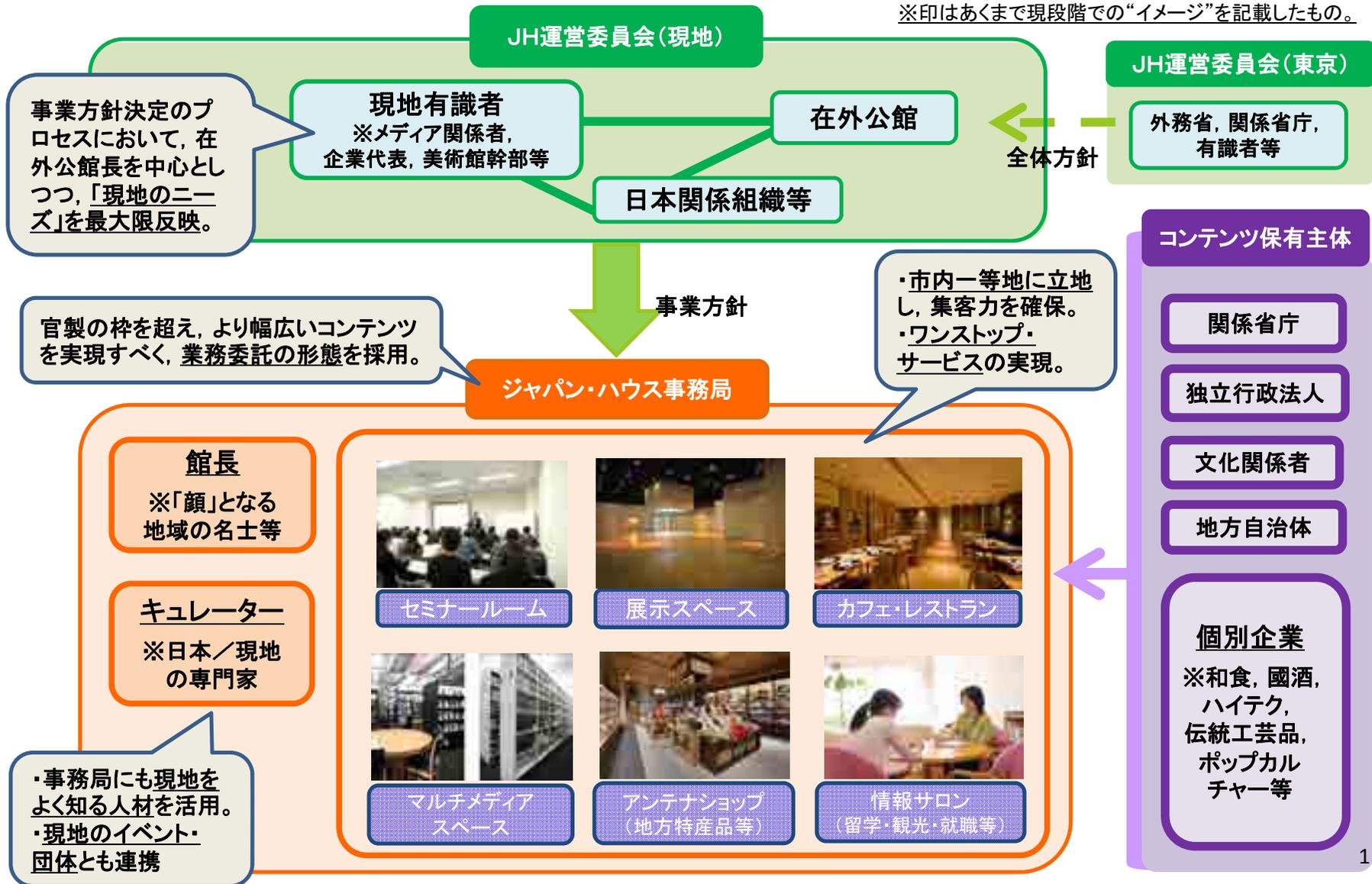


ジャパン・ハウス(仮称)とは？

平成27年4月
外務省

現地在「知りたい日本」を、プロの意見を活用し、「オールジャパン」で発信する拠点。

※印はあくまで現段階での「イメージ」を記載したもの。



ジャパン・ハウス(仮称)のメリット

平成27年4月
外務省

1. 「オールジャパン」での発信

- 各機関の拠点を集約。既存施設を効率化するとともに、発信効果を増幅させるワンストップ・サービスを実現。
(ロンドンでは、国際交流基金等はジャパン・ハウスへの入居を想定。)
- 商業施設の入居を含め、民間の活力、地方の魅力も積極的に活用。

2. 現地のニーズを踏まえた発信拠点

- 現地の「声」を最大限に反映し、民間のノウハウを活用した運営体制を通じ、お仕着せではない、「知りたい日本」を紹介するコンテンツを提供。
- 在外公館では実現し得なかった、オープンな施設を志向。市内一等地のアクセスの良い場所で幅広い層を惹きつける。

3. 現地の特徴に合わせたテーラーメイド型設計

- (例)【ロンドン】知識層や経済関係者を取り込み、国際社会にも発信
【ロサンゼルス】娯楽を中心に、様々なコミュニティ全般を幅広く取り込む
【サンパウロ】日系社会と連携し、日本経済のプレゼンスを拡大